

(1) 会社としての取り組み

自社所有の事業所に太陽光発電 + 蓄電池を設置し、各事業所の昼夜の電力消費を自然エネルギー活用に切り替えています。また、災害時のBCP対策としても活用します。

【E】環境問題への取り組み 脱炭素社会の実現(3)



— 産業と家のクリエイター —
川崎設備工業株式会社

・ 太陽光発電システムの稼働状況

当社は、環境配慮の一環として、自社所有の営業拠点に太陽光発電システムの導入を推進しております。現在、本店/中部支社、豊田支店、各務原営業所の3事業所に設置し、稼働しております。

2025年度は蓄電池を備えた自家消費を主としたシステムにより、四国、九州、北陸、岐阜の各事業所において、順次設置してまいります。

【2025年度上期の運用状況】

(CO2排出係数：0.00423)

設置事業所	発電総容量	CO ₂ 総削減量
本店/中部支社	9.06MW	3.83[t-Co2] ^{※1}
豊田支店	9.55MW	2.36[t-Co2]
各務原営業所	9.53MW	2.97[t-Co2] ^{※2}

※1 CO2総削減量は、自家消費電力量分を換算しています。

※2 各務原営業所は、蓄電池による電力シフトを行っています。



図36 太陽光発電システムの稼働状況
(川崎設備工業株式会社より資料提供)

名古屋本店ほか2事業所にて設置済み、現在、順次各事業所にて施工および計画を進めています。

太陽光パネルにより発電する電力を蓄電池に蓄電することにより、事業所の昼夜の電力消費を自然エネルギー由来にすることができます。また、万が一の災害等には蓄電された電力を使用することができます。

事業所の規模により、カーボンニュートラルに寄与しながら費用対効果も望めます。